

[012] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9884>

出版情報：中国文学論集. 12, 1983-12-31. 九州大学中国文学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

前十一號の刊行より一年有餘、「中國文學論集」第十二號は、諸般の事情が重なったために、例年に比べて、刊行の時期を少々遅らざるを得なくなつたが、幸いに、九州大學中國文學會諸先輩の寛容なる御協力を得て、恙く上梓のはこびとなつた。また内容についても、會員諸先輩の力作多數を得た上に、王元化先生の玉稿をまで賜わり、從來に優るとも劣らぬ充實したものになつたと思う。本論集の順調な刊行を喜ぶとともに、ここに改めて感謝の意を表したい。

さて、今號巻頭を飾って頂いた王元化先生の論文は、先生が昨秋、文心雕龍研究者視察團の團長として九大を訪問された際、特別にお願ひした御講演の原稿を頂いたものである。快人快語。なるほど、かの地では先生をこう稱する由であるが、訪日の勞をお慰さめする阿蘇の小宴で、王先生はこの稱語をそっくり岡村先生に譲られ、大に意氣投合された。本號所載の寫眞は、その折のスナップである。

また、巻末の索引は、異例ではあるが、本會の先輩故小西昇先生の遺稿集のために、やはり本會の先輩である松浦崇氏が進んで精力的に作成されたものである。御活用頂きたい。

創刊以來すでに十二號を數える本論集に、これまで収載された本會諸先輩の研究業績を顧みると、覺えず身のひきしまる思いがする。我々後進は、この傳統を誇りとし、また勵みとして、一層の奮氣を誓わねばならない。

(西村秀人記)